

## 中部のSDGs推進 愛知学院大に事務局



SDGs推進へ協力を誓う遠藤所長(右)と引田学長＝名古屋市千種区の愛知学院大で

### 日進キャンパス内 県内4団体共同設立

国連が提唱するSDGs（持続可能な開発目標）を推進するための拠点「中部圏SDGs広域プラットフォーム事務局」が十二月一日、愛知学院大日進キャン

D拠点、ローマクラブ日本、中部SDGs推進センターの県内四団体が共同で設立。自治体や民間企業、団体にメンバーとして参加を呼びかける。同大が研究室一室を無償貸与する。

SDGsは「貧困をなくそう」「質の高い教育をみんなに」など十七項目にわたって二〇三〇年までの目標を定めている。プラットフォームは、SDGsに関する啓発活動や情報・ノウハウの共有、経営診断などを担う。（杉浦正至）

パス（日進市）にできる。中部地方でSDGs達成に取り組み官民の団体を橋渡しし、活動を支援する。国連地域開発センター（UNCRD）、中部ESDの遠藤和重所長が名古屋市千種区の同大楠元キャンパスを訪れ、同大関係者らと面談。これだけの国際関係部門が力を合わせる事例は日本にはない。この地域が国際貢献できるような活動を目指す」と語った。引田弘道学長は「学生が地域にどう貢献するかを考えるきっかけになれば」と教育効果にも期待した。